

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	安全計画小委員会	主 査 名：掛川秀史 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：布野修司 主 査 名：
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置目的：建築の新しい形態や使われ方、関連技術の進歩にともなって発生する危険要因を抽出し、それに対応した安全計画のあり方を提案する。</li> <li>&lt;活動計画&gt; テーマ「想定外の災害・事故に対応した安全計画」</li> <li>・2006 年度：想定外の災害・事故の事例について調査研究する。</li> <li>・2007 年度：前年度の成果をホームページ上に公開するとともに、安全計画シンポジウムを開催する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり 掛川秀史(清水建設), 村井裕樹(兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所), 八木真爾(佐藤総合計画), 北嶋秀明(ETRA), 佐野友紀(早稲田大), 土屋伸一(明野設備研究所), 萩原一郎(建築研究所), 林 広明(大成建設), 古川容子(日本建築センター), 水落秀木(清水建設), 宮崎淳(日本設計), 山本昌和(東日本旅客鉄道), 吉村英祐(大阪工業大), 以上 13 名	
設置 WG (WG 名:目的)	名称：防災計画デザインガイド編集 WG(主査:吉田克之) 目的：安全な建物を実現するうえで必要な考え方や対策などをまとめた、総合的な視点に立った防災計画の設計のガイドラインを作成する。	
2007 年度予算	201,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s6/">http://news-sv.ajj.or.jp/keikakusub/s6/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 「火災安全と建築設計・建築家のためのデザインガイド」 (2008 年 4 月頃出版予定)
講習会	1. なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. (名称) 第 19 回安全計画シンポジウム 建築物の想定外災害に対応した安全計画のあり方 - 地震・火災に対する人命安全を中心として - <span style="float: right;">参加者数__名</span> (資料名) 第 19 回安全計画シンポジウム 建築物の想定外災害に対応した安全計画のあり方 - 地震・火災に対する人命安全を中心として -
大会研究集会	1. なし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会を 9 回開催し、想定外災害の基本的な考え方について委員会内で検討を行った。活動成果を会員に還元するため、シンポジウムを企画・実施し、当初の目標を概ね達成した。 2. 過去の活動成果である避難安全のバリアフリー計画を整理し、HP 案を作成したが、公表に至らなかった。 3. 「火災安全と建築設計・建築家のためのデザインガイド」(朝倉書店)を年度内に出版する予定であったが、出版社との調整に時間を要したため、現在原稿の最終とりまとめを行っており、出版は、次年度となる予定。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会 HP の定期的な更新と管理体制の確立(現状では特定の委員に管理を依頼している。)

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。